

令和元年度 外出時に不便や困難を感じること ～歩道の整備や段差、交通マナーが問題～

☆外出時に不便や困難を感じることについては、「歩道がない道路に危険を感じる」や「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」、「歩道に段差が多い」等、歩道の整備や交通マナーに関する項目が上位を占めています。

☆知的障がい者や身体・知的障がい児、精神障がい者(通院)、発達障がい児・者では「まわりの人の目が気になる」という意見が上位に挙がっています。また、身体障がい者では「障がい者用の駐車場の少ない」という意見も見られました。

■外出時に不便や困難を感じること(複数回答上位5項目)■

	身体障がい者 (N=760)	知的障がい者 (N=563)	身体・知的障がい児 (N=543)	精神障がい者 [通院] (N=701)	発達障がい児・者 (N=258)	難病患者 (N=609)
1位	歩道に段差が多い (35.3%)	歩行者や走行自転車のマナーの悪さ (28.1%)	歩道がない道路に危険を感じる (34.4%)	歩行者や走行自転車のマナーの悪さ (26.0%)	特にない (33.7%)	特にない (30.6%)
2位	歩行者や走行自転車のマナーの悪さ (34.6%)	歩道がない道路に危険を感じる (27.9%)	歩行者や走行自転車のマナーの悪さ (24.1%)	特にない (25.0%)	まわりの人の目が気になる (21.7%)	歩道に段差が多い (29.7%)
3位	歩道がない道路に危険を感じる (29.3%)	特にない (21.8%)	特にない (22.1%)	歩道がない道路に危険を感じる (21.4%)	歩道がない道路に危険を感じる (18.6%)	歩行者や走行自転車のマナーの悪さ (25.4%)
4位	道路に自転車などの障害物が多い (17.6%)	まわりの人の目が気になる (20.8%)	まわりの人の目が気になる (21.7%)	まわりの人の目が気になる (17.5%)	歩行者や走行自転車のマナーの悪さ (18.2%)	歩道がない道路に危険を感じる (21.8%)
5位	障がい者用の駐車場の少ない (14.9%)	歩道に段差が多い (20.7%)	歩道に段差が多い (19.2%)	歩道に段差が多い (16.1%)	外出に費用がかかりすぎる (9.1%)	道路に自転車などの障害物が多い (12.7%)

平成25年度と令和元年度の調査結果の比較

- ★「歩道に段差が多い」という意見の回答割合が、知的障がい者を除き、減少しています。
- ★「歩道がない道路に危険を感じる」という意見の回答割合は、いずれの障がい区分においても、引き続き高くなっています。
- ★「障がい者用トイレが少ない」や「エレベーター、エスカレーターが設置されている施設数が少ない」という意見の回答割合が減少し、上位5位以内の回答ではなくなっています。
- ★「道路に自転車などの障害物が多い」という意見の回答割合は減少する一方で、「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」という意見の回答割合が増加しています。